

新潟焼山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

<噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)が継続>

5月9日14時までの活動状況についてお知らせします。

5月1日に増加した振幅の小さな火山性地震は、2日以降減少していますが、やや多い状態が続いています。

5月6日の上空からの観測で、山頂東側斜面に、ごく小規模な噴火に伴うものとみられる降灰を確認しました。その後、噴火は認められません。

今後も、想定火口内(山頂から半径1km以内)に影響を及ぼすような噴火が発生するおそれがあるため、火山活動の推移に注意してください。

想定火口内は、平成28年3月2日から、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

5月9日14時までの活動概況

・地震や微動の発生状況(図1、図2、図3 -)

5月1日に振幅の小さな火山性地震が増加しました。2日以降減少していますがやや多い状態が続いています。5月4日から5日にかけて低周波地震も発生しています。

・表面現象の状況(図3 - 、図4)

5月6日に実施した新潟県警察の協力による上空からの観測で、山頂東側斜面の噴気孔周辺のごく小規模な噴火に伴うものとみられる降灰を確認しました。噴火が発生した時期は不明です。6日の観測以降、新潟県土木部砂防課が焼山温泉(山頂の北北西約8km)に設置している監視カメラによる観測では、噴火は認められません。

2015年夏頃から、山頂部東側斜面の噴煙がやや高く上がる傾向が認められ、12月下旬からは噴煙量も多くなっています。

・地殻変動の状況(図3 - 、図5)

GNSS¹⁾による地殻変動観測では、2016年1月頃から新潟焼山を南北に挟む基線でわずかな伸びがみられています。

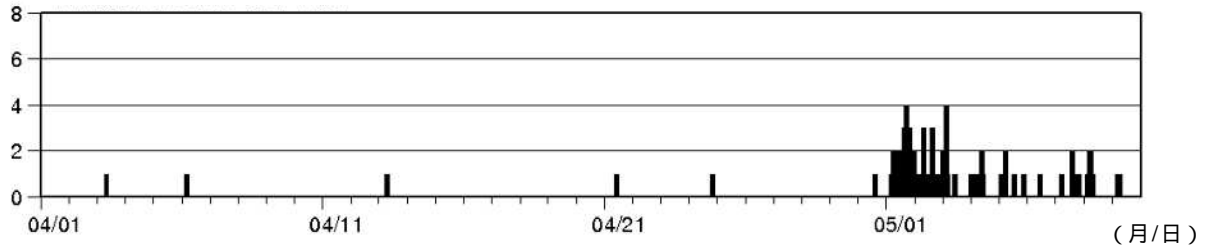
1) GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『電子地形図(タイル)』『数値地図 25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平26情使、第578号)。

(回) 時間別高周波地震回数



(回) 時間別低周波地震回数

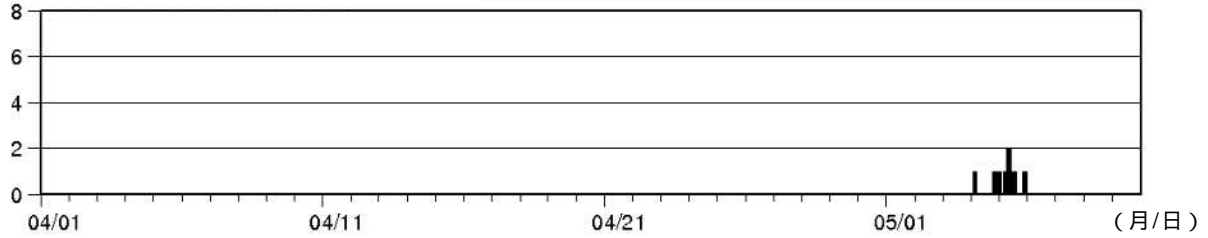


図1 新潟焼山 時間別地震回数(2016年4月1日~2016年5月9日14時)

- ・5月1日以降、振幅の小さな火山性地震がやや増加しています。5月4日から5日にかけて低周波地震も発生しています。
- ・地震の主な種類別(図2参照)の回数を掲載しています。

高周波地震 (A型地震) P,S相が明瞭で卓越周波数は10Hz前後と高周波の地震



低周波地震 (BL型地震) P,S相が不明瞭で卓越周波数が約3Hz以下の地震

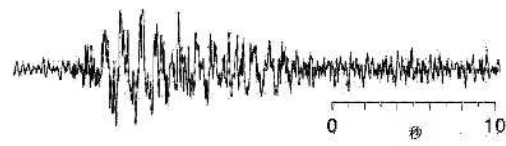


図2 火山性地震の特徴と波形例

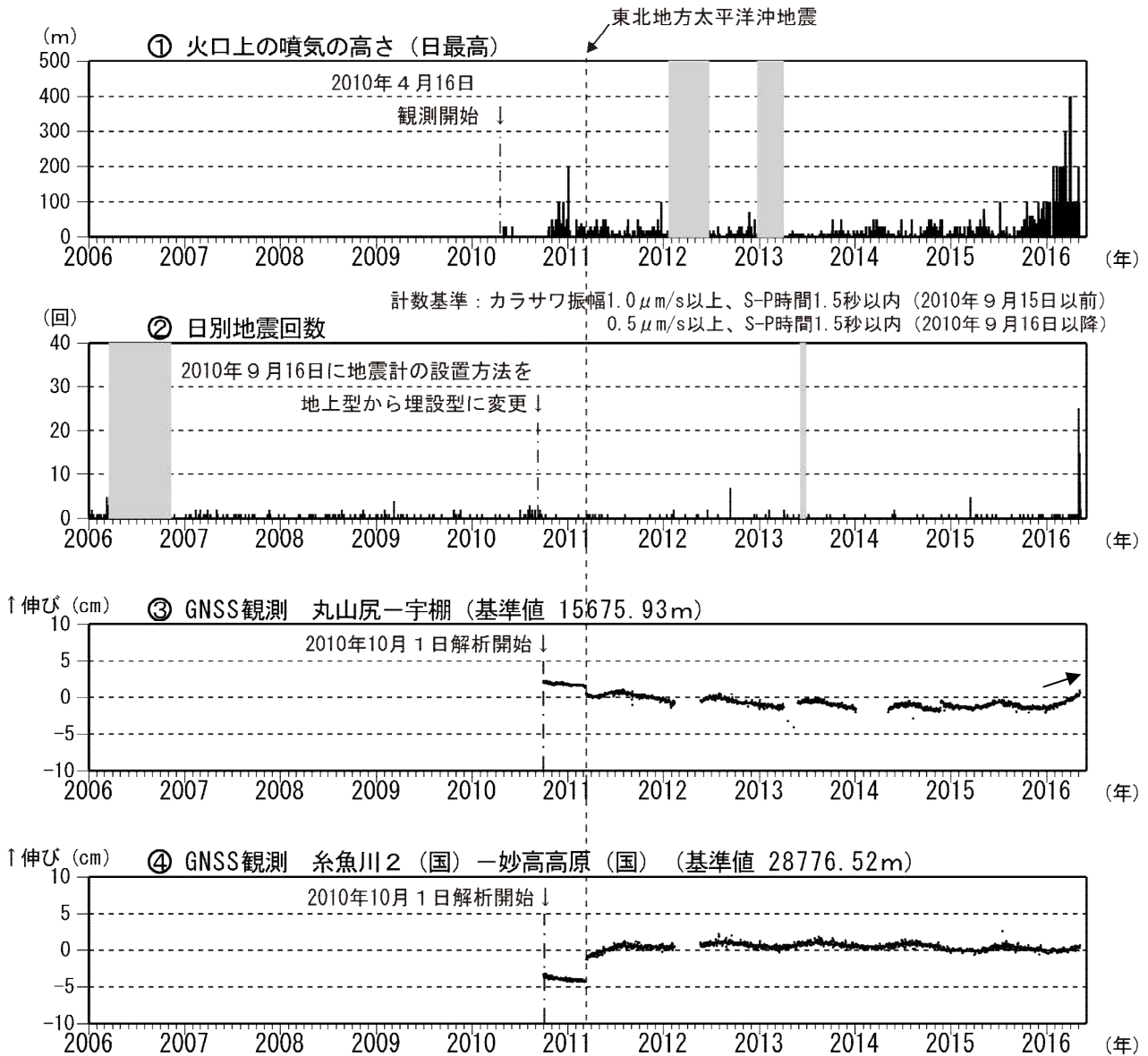
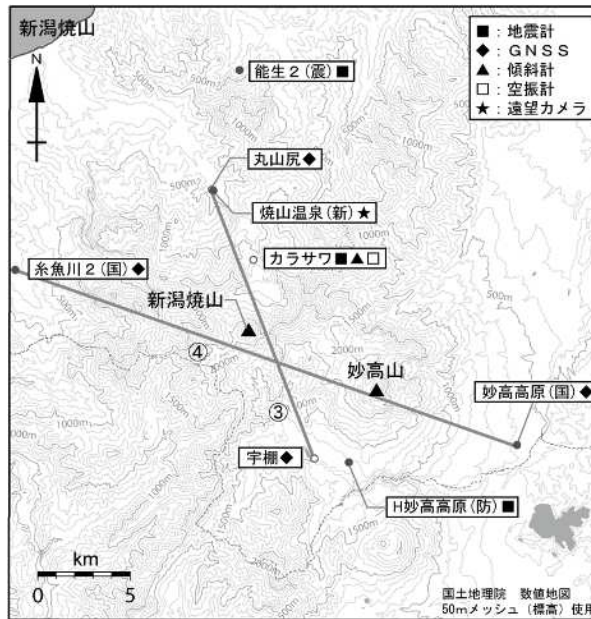


図3 新潟焼山 火山活動経過図(2006年1月1日~2016年5月8日)

- ・ 定時観測(09時・15時)による日別最高の火口上の噴気の高さ
- ・ 5月6日に実施した新潟県警察の協力による上空からの観測で、山頂東側の噴気孔周辺のごく小規模な噴火に伴うものとみられる降灰を確認しましたが、その後、噴火は認められていません。
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 日別地震回数
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- ・ 図1は2016年4月以降の地震回数を時間別に高周波地震(図2の)と低周波地震(図2の)に分けて示したものです。
- ・ GNSS連続観測結果 (国): 国土地理院
- ・ の基線で1月頃からわずかな伸び(矢印)がみられています。
- ・ の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・ は、図5のGNSS基線 に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を示します。



図4 新潟焼山 山頂部の状況
(5月9日12時46分 焼山温泉監視カメラによる)



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国): 国土地理院、(防): 防災科学技術研究所、(産): 東京大学地震研究所、(新): 新潟県

図5 新潟焼山 観測点配置図
(GNSS基線は図3のに対応しています。)